

深層水の研究開発の現状などに理解を深めたフォーラム

＝富山市内のホテル



深層水開発の現状理解

富山でフォーラム 120人、講演に聞き入る

県と県深層水協議会の「深層水フォーラム in 富山」は三日、富山市の富山全日空ホテルで開かれ、約百二十人が講演を通じて、富山湾深層水の研究開発の現状や利活用の可能性に理解を深めた。

フォーラムは、深層水の利活用の促進や関連商品の販路拡大を目的に開かれた。企業関係者や大学の研究者ら四人が講演した。ヤマサン食品工業の大塚耕太郎研究開発室長は、深層水を利用する

ことで保存性を高めたクオリティなどのレトルト食品の開発事例を紹介。富山大学大学院医学薬学研究部の常山幸一准教授は、県内企業と共同で取り組む床ずれに効果的なケアについての研究などについて話した。

このほか県立大の葭田隆治客員教授、県林業技術センターの高島幸司副

主幹研究員もそれぞれ深層水を使った商品の展示層水を使った研究の成果や試食コーナーも設けら説明した。会場では深層水を使った商品の展示層水を使った研究の成果や試食コーナーも設けら説明した。